

訪問リハビリテーション通信

第43号

出版責任者

訪問リハビリ
テーション振興
委員会

“絆”きずな

平成29年度 訪問リハビリテーション実務者研修会報告 IN神奈川

平成29年7月8～9日で開催しました。神奈川県における参加者数の推移は、近年では定員をほぼ満たす状況となっています。企画の段階で特に意識をしていることは、①統一感②一体感③充実感のポイントです。

①は訪問リハビリテーション振興財団からの要件は満たした上で、テーマを設け2日間の研修会に統一性を持たせています。平成29年度のテーマは「排泄」でした！

②は全国で実務者研修会が開催されていることや、管理者養成研修会等の重層的なカリキュラムになっていることや、神奈川県内での地域活動（連絡会など）の情報などを盛り込むことで、普段意識しない組織的な取り組みであることを実感していただきます。

③はとにかく受講していて楽しいこと！普段の仕事では身体を使って動き回っている方が受講者なので、座学だけで終わるのではなく、動きを伴う構成にしています。例えば、参加者を数名ずつのグループに分けて、各ブースで演習を行うなど。

訪問リハビリテーションの従事者数が増加していることも、研修会受講者を保っている要因と考えますが、訪問リハビリテーションを普及推進することに特化した組織「神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会」が機能し、企画運営が円滑に出来ていることがもっとも大きな要因と考えております。

神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会 副会長 木村 修介

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介③ 兵庫県編

平成23年3月12日、奇しくも東日本大震災の翌日に、兵庫県では第1回訪問リハビリテーション実務者研修会を開催しました。兵庫県は平成7年1月17日に阪神淡路大震災を経験しており、実務者研修会を迎えるたびに未曾有の震災映像が脳裏に浮かびます。

震災からの復興とはレベルが違いますが、兵庫県での実務者研修会の立ち上げは難産でした。当初は3土会合同での実行委員会の立ち上げが難しく、3年間は各土会が持ち回りで研修会を企画し開催しました。その後、3土会合同の実行委員会を立ち上げる事が出来、毎年港神戸で開催することが出来ています。

今後は、世界陸上でメダルを取った400mリレーのように、急性期から生活期までのセラピストがうまくバトンを渡せるような内容の研修会を企画していきたいと考えています。

兵庫県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士

辻 真人

兵庫県3土会合同研修会実行委員会

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in 岡山県

訪問リハビリテーションは、住み慣れた自宅環境でご家族・多職種と協力を得ながら、リハビリテーションの視点に基づいて継続的に関わる事が出来ることや、具体的な目標に対して直接的なトレーニングを行い、出来るようになったことはご家族と共有しながら次の目標へと進むことが出来るところが魅力です。ご自宅に関わることで、本来のその人らしさや新たな一面を知ることが出来ます。

また、1年目のスタッフであっても真剣に対象者と向き合うことで、その方の人生にとっても大きな変革を起こせる様な、アプローチへの多様性があり、目標実現に向けたセラピストのアイデアをより多く実践できる懐の深い職域であるということが魅力です。

岡山県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士

岩井 宏明

株式会社 創心會